

## 渋谷と碑

与謝野晶子、田山花袋、竹久夢二…。

渋谷区内には彼らの歌碑や住居跡の碑があります。普段は街の風景の一部となっていて、気がつかないかもしれません。街の風景は変わり、彼らが過ごしていた時代の面影は残っていないかもしれません。それでも、かつてここで生活をし、様々な作品を生み出してきた文豪たちがいたことを想像しながら街を散策するのも、ひとつの楽しみ方ではないでしょうか。

「渋谷読書人」は

渋谷に関わる人全てに向け、  
おすすめ本の情報を発信して  
いく、渋谷区立図書館が発行  
する定期刊行物です。



### 『回想 与謝野寛 晶子研究』

逸見 久美／著 勉誠出版 2006

56年にもわたって与謝野寛・晶子を研究し続けてきた著者。何がそこまで著者を駆り立てたのか。研究の成果とともに、これまでの研究人生を振り返る。



### 『田山花袋』

五井 信／著 勉誠出版 2008

明治・大正・昭和の時代に旺盛な執筆活動を行った花袋。日露戦争や関東大震災といった歴史的出来事と関連させながら、田山花袋という作家像に迫る一冊。

## 渋谷読書人 2023年6月・7月号

発行 / 編集 渋谷区立図書館

株式会社図書館流通センター

発行日 2023年6月

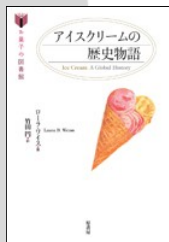
渋谷区立中央図書館

電話 3403-2591

住所 渋谷区神宮前1-4-1



# 夏が来る！！

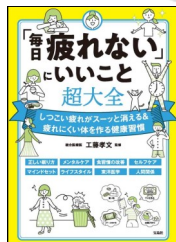


## 『アイスクリームの歴史物語』

ローラ・ワイス／著 竹田 円／訳

原書房 2012

17世紀ヨーロッパで誕生し、アメリカで大きく成長、今や世界中で大量に生産されているアイスクリーム。ジェラートとアイスクリームの違いは？ 薬局やソーダ水との関係は？ 様々なエピソードで彩られたアイスクリームの歴史本。レシピも紹介されているので、珍しいアイスクリームを作ってみるのも楽しいかも。



## 『「毎日疲れない」にいいこと超大全』

工藤 孝文／監修 宝島社 2022

「なんとなく疲れている」「やる気がでない」などの「なんだか不調」。実は心の不調のサイン。心の不調は主に免疫力低下という形で体に影響を与えます。免疫力低下を避け、疲れをためないコツは、体と心に良い習慣。やれることから始めて、体を労り、楽しい夏を過ごしましょう。



## 『恐怖と哀愁の内田百閒』

内田 百閒／著 東 雅夫／編

双葉社(双葉文庫) 2021

内田百閒の作品は、言い回しが楽しく、いくら読んでも読み飽きない。その数多ある作品の中から選りすぐられた怪奇コレクション。夢中で読み進めるうちに夏の暑さを忘れるかも。



## 『夏への扉 新訳版』

ロバート・A. ハインライン／著 小尾 美佐／訳

早川書房 2009

あなたは30年後の未来へ行ってみたいだろうか？ 恋人と親友に裏切られた失意のダニエルが、愛猫と共に30年後の未来で新しい人生を歩む物語。1957年の作品にもかかわらず、2021年に日本で映画化されたSF小説の名作！



## 『「雨ダルさん」の本』

佐藤 純／著 文響社 2021

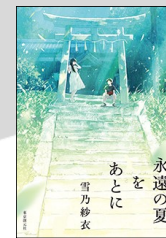
雨の日に何となくダルい。それは心の弱さではなく、気圧変化による天気病かもしれません。本書は、セルフケアはもちろん、アプリの有効活用方法等も紹介。調子が悪いけど病院に行くほどでも…という方にもおすすめの一冊。



## 『怪獣の夏 はるかな星へ』

小路 幸也／著 筑摩書房 2015

1970年夏、謎の機械人間や怪獣が次々と町を襲う…。公害、環境問題を絡めた光と影の物語。当時を知る人も知らない人も、懐かしさとワクワクを感じられる作品。



## 『永遠の夏をあとに』

雪乃 紗衣／著 中村 至宏／装画

西村 弘美／装幀 東京創元社 2020

神社の石段、バス停、夕方の最終バス、ラムネの泡、お祭りの浴衣…。今年もやってくる、夏。記憶の底に沈んだいくつもの夏を行きつ戻りつ、少年はいつしか大人になる。

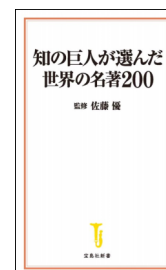


## 『金子光晴の旅』

金子 光晴／著 横山 良一／著 平凡社 2011

上海から東南アジア、パリへと放浪生活を送った金子光晴の足跡をたどりながら、あえて暑い国へ旅に出るのも、夏の楽しみ方のひとつではないでしょうか。

## 気になる新着コーナー



## 『知の巨人が選んだ世界の名著200』

佐藤 優／監修 宝島社 2023

今の時代に読むべき200作品の古典を厳選。概要、書かれた時代背景、名作といわれる理由などを紹介した名作古典ガイド。



## 『東南アジア式

### 「まあいっか」で楽に生きる本』

野本 響子／著 文藝春秋 2023

「ちゃんとしなくては」と苦しむ人が多い日本。しかし世界を見ると、そこまで厳しく緻密さや正確さは求められていない。感情をコントロールすることの大切さをユニークな視点で書いたエッセイ。